
多面的機能支払 メールマガジン

「農村ふるさと保全通信」第43号(2018.6.25)

農林水産省農村振興局 多面的機能支払推進室



高めよう 地域協働の力!

多面的機能支払のメールマガジン「農村ふるさと保全通信」の第43号をお届けします。

今回の活動組織紹介では、非農業者等が農地維持活動へ参加することによって農業者の負担が減少し、農作物作付面積や販売額の増加に繋がった組織と、4つの組織間で情報共有や環境保全の充実を図るために連携し、幅広い活動を展開している組織を紹介します。

事務局からは、農村振興局フェイスブック、農業水路の「魚の棲みやすさ評価プログラム」、全国事例研究会の参加者募集（継続案内）についてお知らせします。

--- 第43号の目次 -----

1. 活動組織の活動紹介

☆平賀地区農地・水・環境保全会（北海道日高町）☆

☆竹原農地・水・環境保全会（岐阜県下呂市）☆

2. 農村振興局フェイスブック

3. 農業水路の「魚の棲みやすさ評価プログラム」について

4. 全国事例研究会の参加者募集開始！（継続案内）

（編集後記）

■ 1. 活動組織の活動紹介 (1)

～^{びら}平賀地区農地・水・環境保全会(北海道日高町)～ ■

～地区概要～

北海道道央南部の日高振興局管内に位置する日高町の旧門別町地区に広がる平地農業地域を拠点に活動。

取組面積は、田 76.9ha、畑 25.6ha、草地 95.5ha。

保全管理する施設は、水路 15km、農道 18.2km。

～主な取組～

◎本組織は、平成 20 年度の設立時に広く地域住民へ活動参加を呼び掛けた結果、非農業者・非農業団体の参加が構成員の 20% を超える組織となりました。

◎非農業者が、施設の泥上げや草刈りなどの農地維持活動に参加することによって、農業者の施設維持管理に係る負担が大幅に減少し、農作業に従事する時間を確保できるようになりました。その結果、トマトの作付面積の拡大や販売額の増加に繋がり、農業経営の安定化に効果が現れています。

◎また、毎年取り組んでいるコスモスの植栽では、種まきから片付けまでを農業者と非農業者が協力しながら行い、地域の美しい景観の形成に寄与しています。

◎今後も地域住民が一体となって、農用地や農業用施設を保全管理するとともに、植栽などの景観保全活動を通じて、農業や農村環境に親しみながら地域を守る心を育てていきます。



農道側溝の土砂上げ



トマト生産概要(JAびらとり調べ)



コスモスの植栽

【平賀地区農地・水・環境保全会 会長 山田 良成】

■ 1. 活動組織の活動紹介 (2)

～竹原農地・水・環境保全会(岐阜県下呂市)～ ■

～地区概要～

日本屈指の名泉である、下呂温泉の東の玄関口に位置する、中山間地域を拠点に活動。

取組面積は、田 111ha、畑 40ha。

保全管理する施設は、水路 65.3km。農道 87.2km

活動組織には、地域の全住民が参加。



地区の案内マップ

～主な取組～

◎本組織は、「御厩野ふるさと会」、「野尻の里 済美隊」、「宮地ふるさと環境保全会」、「ふるさと乗政を守る会」という旧竹原村の4つの組織間の情報共有と環境保全の充実を図るために設立しました。

◎写真が満載の情報誌「竹原農地・水・環境保全かわら版」を作成し、情報発信を行うとともに、地区の案内マップを作成したり、農村の風景や文化を見学するウォーキングを開催したりするなど都市農村交流の活性化にも取り組んでいます。

◎また、耕作放棄地を活用して共同農園を開設したところ、地域住民同士の交流の場や、子ども達が農業を学ぶ場となり、地区の活性化に繋がりました。

◎今後も4つの会の連携を深め、地域住民のコミュニティ機能の増進を図ることによって、活動の目標である「子どもたちに愛着を抱いてもらえるようなふるさとづくり」を目指していきます。



農村ウォーキング



共同農園

■2. 農村振興局フェイスブック ■

多面的機能支払交付金による取組は、農村振興局フェイスブックでも写真と一緒に紹介しています。

今回は、各地で梅雨入りが発表され雨の多い季節を迎えた中で、大雨後の共同作業に関する注意喚起の記事を掲載しています。

大雨後の施設の点検や管理については、無理をせずに、安全第一で作業に取り組んでください。

○大事な農地や水の管理、でも大雨後の作業には気をつけて（6月22日投稿）

<https://www.facebook.com/nouson.maff/posts/2012553328997088>

○共同活動の安全のしおりについてはこちらから

<http://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/pdf/anzennoshiori2018.pdf>



【農林水産省 農地資源課 多面的機能支払推進室】

■3. 農業水路の「魚の棲みやすさ評価プログラム」について ■

農業水路は、魚類などの水辺の生き物たちの貴重な生息場所となっています。しかし、これまで生き物たちにとって水路がどれほど棲みやすい環境なのかを判断する目安や改善方法は示されていませんでした。そこで、国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構（農研機構）は、農業水路の「魚の棲みやすさ」をスコア化する評価プログラムを開発し、併せて魚の生息環境の改善方法などをまとめたマニュアルを作成しました。

評価プログラムは、魚の生息環境を、「流速」「水深」「植生」などの指標と魚類の「種数」と「個体数」から、5段階のスコアで魚の棲みやすさを評価します。

本マニュアルには、評価プログラムの使用方法や評価結果から魚の生息環境を改善する具体的な手法や工法についての事例がまとめられています。また水路に見られる魚種についても詳しく解説しています。

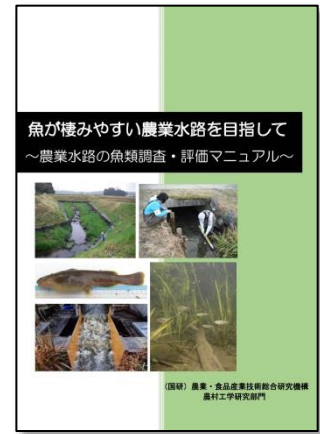
是非、組織の生き物調査などの環境保全活動にお役立ててください。

○詳しくは、以下の農研機構のHPをご覧ください

http://www.naro.affrc.go.jp/publicity_report/pub2016_or_later/pamphlet/tech-pamph/079440.html

○お問い合わせ先（農研機構HP）

<http://pursue.dc.affrc.go.jp/form/fm/naro001/tech>



(マニュアル表紙)

【国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構

農村工学研究部門 水域環境ユニット】

■4. 全国事例研究会の参加者募集開始！（継続案内）■

全国の活動組織等の方々が一堂に会する多面的機能支払交付金事例研究会を今年も開催いたします。本年度は初の地方開催として、環境先進県・滋賀県にて実施いたします。

6月4日（月）より当省ホームページにて参加者の募集を開始しました。活動組織の皆様や自治体、推進組織のご担当者様等のご参加をお待ちしております。

<本年度の開催情報>

▽日時▽

一日目：平成30年10月30日（火）

- ・13時00分から17時00分まで 「事例発表」

二日目：平成30年10月31日（水）

- ・9時00分から12時00分頃まで 「現地視察」

▽場所▽

「事例発表」

滋賀県立男女共同参画センター（G-NETしが）大ホール（滋賀県近江八幡市鷹飼町80-4）

【JR近江八幡駅南口より徒歩10分】

「現地視察」

- ・魚のゆりかご水田協議会（滋賀県東近江市栗見出在家町）
- ・箱庭の里 奥嶋の集い（滋賀県近江八幡市島町）

※集合・解散は JR 近江八幡駅前を予定しています。

▽テーマ（予定）▽

1. 生態系の保全
2. 多様な団体の参画による活動継続の工夫
3. 事務負担軽減に向けたシステム化の推進

▽詳細・参加申込方法▽

以下のホームページで詳細をご確認の上、「5.参加申込要領」からお申込ください。

http://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai/jirei_kenkyu_kai/H30.html

▽申込締切▽

平成 30 年 8 月 24 日（金）12 時 00 分まで

（参加申込の締切後、事例発表・現地視察それぞれの参加者について当方で決定し、参加者の決定通知をいたします。お申込が定員を上回りご参加頂けない場合も、その旨ご連絡します。）

▽昨年度の開催報告はこちら▽

http://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai/jirei_kenkyu_kai/H29.html

【農林水産省 農地資源課 多面的機能支払推進室】

■編集後記■

2018 FIFA ワールドカップのロシア大会が開催しました！サッカー観戦で、寝不足の方も多くいるのではないのでしょうか。日本はコロンビア戦で勝利、セネガル戦で引き分け、次の試合結果によってグループリーグ突破が左右されますので、次の試合の応援には力が入りますね。

私は、部屋にテレビが無く試合状況をスマートフォンでチェックしているのですが、臨場感がほとんどありません！やっぱりスポーツは大きなテレビで観戦するのが一番だと感じています。

さて、これからはより一層暑くなる夏本番を迎えますので、組織の活動も、日本代表のようにチームプレイで声を掛け合い、活動中の事故や熱中症などを防ぎながら行いましょう。

◇バックナンバー◇

http://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai/nouson_furusato_hozen/index.html

バックナンバーはこちらからもご覧いただけます！→



◇平成30年度多面的機能支払交付金のあらまし◇

http://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai.html

◇「多面的機能支払交付金のロゴマーク」◇

ロゴマークは以下のサイトからご利用になれます。どんどんご活用ください！！

http://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai/nouson_furusato_hozen/H29/pdf/logo.docx



高めよう 地域協働の力！

◇配信先メールアドレスの変更・配信解除等◇

メールアドレス等の変更やメールマガジンの配信解除等は以下のサイトから！

<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/>

手続きにはパスワードが必要です。

お忘れの場合は、以下のサイトでパスワードを再発行して下さい。

<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/re.html>

◇ご意見・ご感想等◇

メールマガジンに関するご意見・ご感想や取り上げて欲しいテーマ、ご自身の所属する活動組織の紹介文（300字程度）等に関するメールをお待ちしております！！

tamen_ml@maff.go.jp

【発行】

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1

農林水産省農村振興局整備部農地資源課

多面的機能支払推進室（担当：藤田）

TEL：03-3502-8111（内線5493）
